

安全データシート

WD-40 Multi Use Product (Aerosol)

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2018/04/12 改訂日: 2026/08/04 バージョン: 2.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : WD-40 Multi Use Product (Aerosol)

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 潤滑剤、浸透剤、防湿剤、リムーバー、表面腐食防止剤

使用制限 : 知られていない

会社情報

WD-40 Japan

〒105-0022 東京都港区海岸 1-2-3

T 03-5403-6360

JapanSupport@wd40.com

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : +81 3 4578 9341

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	エアゾール	区分 1
健康に対する有害性	誤えん有害性	区分 1

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP) : 危険

危険有害性 (GHS JP) : 極めて可燃性の高いエアゾール (H222)
高圧容器：熱すると破裂のおそれ (H229)
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ (H304)

注意書き (GHS JP)

安全対策 : 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。(P211)
使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。(P251)

応急措置 : 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
無理に吐かせないこと。(P331)

保管 : 施錠して保管すること。(P405)
日光から遮断し、50 °C以上の温度にばく露しないこと。(P410+P412)

廃棄 : 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

処理時の追加危険有害性 : 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

安全データシート

WD-40 Multi Use Product (Aerosol)

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
水素化精製軽質留分 (石油)	50 – 70	-	-	-	64742-47-8
水素処理、重パラフィン系石油留分	20 – 40	-	-	-	64742-54-7
二酸化炭素(CO2)	2 – 3	CO2	(1)-169	既存化学物質	124-38-9
Trade Secret, ID-001*	0 – 1	-	-	-	-

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般 : 直ちに医師の診察を受ける。

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 嘔吐を誘発せない。
直ちに医師の診察を受ける。

応急措置をする者の保護 : 応急措置を行う者は、自身の保護に注意を払い、推奨される個人用保護具を使用すること
(第 8 項を参照)。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

吸入 : 通常の条件下では特に無し。

皮膚 : 刺激性。

眼 : 軽い眼の炎症。

摂取 : 肺水腫のリスク。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水霧放水、乾燥粉末、泡、二酸化炭素(CO2)

使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。

安全データシート

WD-40 Multi Use Product (Aerosol)

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

火災危険性	： 極めて可燃性の高いエアゾール。
爆発の危険	： 高圧容器：熱すると破裂のおそれ。
火災時の危険有害性分解生成物	： 有毒ガスを放出する可能性がある。
消火方法	： 安全な距離と保護された場所から消火する。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	： 適切な保護具がない状態で対処を試みないこと。 自給式呼吸器。 完全な防護衣。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	： 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的損傷を防止するためにも流出したものを回収すること。
-------	--

非緊急対応者

保護具	： 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置	： 漏出区域を換気する。 裸火、火花禁止、禁煙。 ミストを吸入しないこと。 皮膚、眼との接触を避ける。

緊急対応者

保護具	： 適切な保護具がない状態で対処を試みないこと。 詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置	： 不要な人員を退避させる。 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	： 環境への放出を避けること。
------------	-----------------

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法	： 漏出物を回収すること。 漏出物が発生した場合、盛り土や吸収剤で封じ込め、下水や河川への流出を防止する。 可能であればリスクなく漏出をせき止める。
浄化方法	： 漏れのある缶は、圧力がなくなるまでビニール袋又は蓋のないバケツに入れるべきである。 不活性物質で吸収し、適切な廃棄物処理容器に入れる。
その他の情報	： 物質又は固体残留物を認可された場所で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全データシート

WD-40 Multi Use Product (Aerosol)

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

技術的対策	： データなし
安全取扱注意事項	： 作業場の良好な換気を徹底する。 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。 ミストを吸入しないこと。 皮膚、眼との接触を避ける。 個人用保護具を着用する。
接触回避	： データなし
衛生対策	： 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 製品取扱い後には必ず手を洗う。
処理時の追加危険有害性	： 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。
保管	
安全な保管条件	： 日光から遮断すること。 50℃以上の温度にばく露しないこと。 施錠して保管すること。
安全な容器包装材料	： データなし
技術的対策	： 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
容器包装材料	： 常に元の容器と同じ材質の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

二酸化炭素(CO2) (124-38-9)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	二酸化炭素 # Carbon dioxide
許容濃度	9000 mg/m³
	5000 ppm
規則参照	許容濃度等の勧告（2025 年度）産衛誌 67 巻
日本 - ばく露限界値	
許容濃度(産衛学会)	5000ppm(9000mg/m3)
許容濃度(ACGIH®)	TWA 5000 ppm,STEL 30,000 ppm

設備対策	： 作業場の良好な換気を徹底する。
保護具	
個人用保護具	： 推奨される個人用保護具を着用する。
呼吸用保護具	： 換気が不十分な場合、適切な呼吸装置を着用する。
手の保護具	： 防護手袋
眼の保護具	： 安全メガネ
皮膚及び身体の保護具	： 適切な保護衣を着用する。

安全データシート

WD-40 Multi Use Product (Aerosol)

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

環境へのばく露の制限と監視

： 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	： 液体
色	： 淡い琥珀色から琥珀色
臭い	： 石油
pH	： データなし
融点	： データなし
凝固点	： データなし
沸点	： 147 – 663 °C
引火点	： 79.5 °C
自然発火点	： 239 °C
分解温度	： データなし
可燃性	： 極めて可燃性の高いエアゾール
蒸気圧	： 0.023 kPa
相対蒸気密度 (20°C)	： 6.2
相対密度	： データなし
密度	： データなし
相対ガス密度	： データなし
溶解度	： 水不溶性。
分配係数 n-オクタノール/水 (Log Pow)	： データなし
爆発特性	： 高压容器：熱すると破裂のおそれ。
爆発限界 (vol %)	： 0.6 – 5 Vol-%
動粘性率	： 3.72 mm ² /s
VOC 含有量	： 533 g/l
粒子特性	： 粒子特性: 区分に該当しない(分類対象外)

10. 安定性及び反応性

反応性	： 現在の知見において、本製品は通常の使用条件下では一切危険はない。
化学的安定性	： 通常の条件下において安定。
危険有害反応可能性	： 通常の使用条件下では危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	： 高温面との接触を避ける。熱。炎や火花の禁止発火源をすべて断つ。
混触危険物質	： データなし
危険有害な分解生成物	： 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	： データなし
急性毒性 (経皮)	： データなし
急性毒性 (吸入)	： データなし

安全データシート

WD-40 Multi Use Product (Aerosol)

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

二酸化炭素(CO2) (124-38-9)	
LC50 吸入 - ラット [ppm]	167857 ppm
水素化精製軽質留分 (石油) (64742-47-8)	
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg
LD50 経口	15000 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	> 2000 mg/kg
LC50 吸入 - ラット	> 6.8 mg/l/4h
水素処理、重パラフィン系石油留分 (64742-54-7)	
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg BW
LD50 経皮 ウサギ	> 5000 mg/kg Source: IUCLID
LC50 吸入 - ラット	> 5000 mg/m³
皮膚腐食性／刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: データなし
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: 区分に該当しない
水素化精製軽質留分 (石油) (64742-47-8)	
NOAEL(動物/オス、F0/P)	≥ 3000 mg/kg BW
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データなし
水素処理、重パラフィン系石油留分 (64742-54-7)	
LOAEL (経口、ラット、90 日)	125 mg/kg BW Animal: rat, Animal sex: male, Guideline: OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity in Rodents)
誤えん有害性	: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
WD-40 Multi Use Product (Aerosol)	
動粘性率	3.72 mm²/s
水素化精製軽質留分 (石油) (64742-47-8)	
動粘性率	1.764 mm²/s @40C
水素処理、重パラフィン系石油留分 (64742-54-7)	
動粘性率	73.9 mm²/s

安全データシート

WD-40 Multi Use Product (Aerosol)

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般	: 環境への放出を避けること。
水生環境有害性 短期（急性）	: データなし
水生環境有害性 長期（慢性）	: データなし

水素化精製軽質留分（石油） (64742-47-8)

LC50 - 魚 [1]	2.2 mg/l
EC50 - 甲殻類 [1]	> 1000 mg/l

水素処理、重パラフィン系石油留分 (64742-54-7)

LC50 - 魚 [1]	≥ 100 mg/l
EC50 - 甲殻類 [1]	> 10 g/l
EC50 96h - 藻類 [1]	> 1000 mg/l Source: IUCLID

残留性・分解性

WD-40 Multi Use Product (Aerosol)

残留性・分解性	追加情報なし。
---------	---------

二酸化炭素(CO2) (124-38-9)

残留性・分解性	生物分解性は無機化合物には該当しない。
---------	---------------------

水素化精製軽質留分（石油） (64742-47-8)

残留性・分解性	本質的に生分解性。
生分解性	85 % OECD 301F (28d)

水素処理、重パラフィン系石油留分 (64742-54-7)

残留性・分解性	本質的に生分解性。
---------	-----------

Trade Secret, ID-001*

残留性・分解性	追加情報なし。
---------	---------

生体蓄積性

WD-40 Multi Use Product (Aerosol)

生体蓄積性	データなし
-------	-------

水素処理、重パラフィン系石油留分 (64742-54-7)

分配係数 n-オクタノール/水 (Log Pow)	3.9 – 6 Source: IUCLID
---------------------------	------------------------

安全データシート

WD-40 Multi Use Product (Aerosol)

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

土壌中の移動性

WD-40 Multi Use Product (Aerosol)

土壌中の移動性	データなし
---------	-------

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。

残余廃棄物 : 本製品の廃棄物は、製品自体と同様に有害であり、環境への影響も同様に考慮する必要がある。

廃棄物の管理および処理は、製品本体で定められた方法に従うこと。

地域の廃棄規則 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

推奨下水処理 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

追加情報 : 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

UN RTDG / IMDG / IATA に準ずる

国連勧告 (UN RTDG)	海上輸送 (IMDG)	航空輸送 (IATA)
国連番号		
1950	1950	1950
国連正式品名		
エアゾール LTD QTY	AEROSOLS	Aerosols, flammable
輸送危険物分類		
2.1	2.1	2.1
		
容器等級		
非該当	非該当	非該当
環境有害性		
環境有害性 : 非該当	環境有害性 : 非該当	環境有害性 : 非該当

安全データシート

WD-40 Multi Use Product (Aerosol)

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

海洋汚染物質 : 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 本製品は、単一梱包又は内装の組み合わせの合計正味量が 5 kg/5 L 未満のため、規制対象外として発送される (IMDG コード 2.10.2.7; ICAO 特別取扱規定 A197, 49CFR 171.4(c)(2); ADR/ADN/RID SP 375)。内容物が内装から取り出され、5kg 又は 5L を超える他の内容物と組み合わせられる場合は、規制対象となる場合がある。

15. 適用法令

国内法

化審法 : 優先評価化学物質 (法第 2 条第 5 項)

労働安全衛生法 : 作業環境評価基準 (法第 65 条の 2 第 1 項)
名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 2 号・第 3 号、規則第 30 条・別表第 2)
・二酸化炭素 (規則別表第 2 第 1463 号)
・ミネラルスピリット (ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。) (規則別表第 2 第 1972 号)
・鉱油 (規則別表第 2 第 581 号)
名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第 57 条の 2 第 1 項、施行令第 18 条の 2 第 2 号・第 3 号、規則第 34 条の 2・別表第 2)
・二酸化炭素 (規則別表第 2 第 1463 号)
・ミネラルスピリット (ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。) (規則別表第 2 第 1972 号)
・鉱油 (規則別表第 2 第 581 号)
・営業秘密 ID-001 (代替有害性情報による通知) (法第 57 条の 2 第 1 項・第 3 項、規則第 34 条の 2 の 6 の 2・第 34 条の 2 の 6 の 3)
リスクアセスメントを実施すべき危険有害物 (法第 57 条の 3 第 1 項、規則第 34 条の 2 の 7)
危険物・引火性の物 (施行令別表第 1 第 4 号 4)

第 3 種有機溶剤等 (施行令別表第 6 の 2 第 54 号、有機溶剤中毒予防規則第 1 条第 1 項第 1 号・第 2 号・第 5 号)
・ミネラルスピリット

消防法 : 第 4 類引火性液体、特殊引火物 (法第 2 条第 7 項危険物別表第 1・第 4 類)
第 4 類引火性液体、第一石油類非水溶性液体 (法第 2 条第 7 項危険物別表第 1・第 4 類)

大気汚染防止法 : 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質 (中央環境審議会第 9 次答申)
揮発性有機化合物 (法第 2 条第 4 項) (環境省から都道府県への通達)
揮発性有機化合物
適用条件:
排気

海洋汚染防止法 : 個品運送 P (施行規則第 30 条の 2 の 3、国土交通省告示)
危険物 (施行令別表第 1 の 4)

安全データシート

WD-40 Multi Use Product (Aerosol)

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

	有害液体物質（Y 類物質）（施行令別表第 1） ポリイソブチレンアミン化合物の脂肪族炭化水素を溶媒とする溶液
外国為替及び外国貿易法	： 輸入貿易管理令第 4 条第 1 項第 2 号輸入承認品目「2 の 2 号承認」 輸出許可貨物・補完品目（キャッチオール規制）（法第 4 8 条第 1 項、輸出令第 1 条別表第 1 の 1 6 の項（2）） その他の無機酸及び無機非金属酸化物 輸出承認貨物・特定有害廃棄物等（法第 4 8 条第 3 項、輸出令第 2 条別表第 2 の 3 5 の 2 の項） 輸出承認貨物・ロンドン議定書附属書物質（法第 4 8 条第 3 項、輸出令第 2 条別表第 2 の 3 5 の 5 の項）
道路法	： 二酸化炭素を隔離するための二酸化炭素の回収工程から生ずる二酸化炭素を含んだガス ： 車両の通行の制限（施行令第 1 9 条の 1 3、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第 1 2 号・別表第 2） 二酸化炭素 第二石油類非水溶性液体 適用条件: 1 気圧において、液体であって、危険物令第 1 条の 6 で定める試験において、引火性を示し、引火点が 2 1 °C 以上 7 0 °C 未満のもの。ただし可燃性液体量が 4 0 % 以下であって、引火点が 4 0 °C 以上、かつ、燃焼点が 6 0 °C 以上のものを除く（法別表第 1 備考 1 4、危険物則第 1 条の 3 第 5 項）。
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）	： 特定有害廃棄物（法第 2 条第 1 項第 1 号イ、平成 3 0 年 6 月 1 8 日省令第 1 2 号）
高圧ガス保安法	： 適用除外
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	： 第 1 種指定化学物質（法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1）
労働基準法	： 疾病化学物質（法第 7 5 条第 2 項、施行規則第 3 5 条別表第 1 の 2 第 4 号 1）

16. その他の情報

改訂情報

新しいフォーマット。

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。

4071300/ No. 0015701